

地域と企業の発展のために、私ども中小企業診断士をご活用ください。



岡山県中小企業診断士会会報

2023年7月15日発行（第23号）

一般社団法人 岡山県中小企業診断士会

〒700-0985 岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所ビル 5階

TEL (086)225-4552 FAX (086)225-4554 URL <https://osmeca.org/>



2023年9月1日!グランドオープン!「岡山芸術創造劇場ハレノワ」

目次

会長あいさつ……1

活動報告……2

研究会……5

新会員……8

投稿……9

書評……9

事務局だより……10

岡山の新たな文化芸術の発信拠点

「岡山芸術創造劇場 ハレノワ」

長年親しまれてきた岡山市民会館と岡山市立市民文化ホールに代わる“新しい文化芸術施設”です。

「魅せる」「集う」「つくる」というコンセプトに沿って、作られています。

経営戦略と人材戦略の一体的推進を伴走型で支援



会長 松本直也

令和5年度定時総会において理事・執行役員の新執行部が選任されました。より一層会員の資質向上・交流機会の拡大、中小企業診断士の知名度向上等に努めてまいります。会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

令和5年6月に中小企業庁より「中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン」が公表されました。中小企業・小規模企業が持続的な発展を図る上で「人材面」が大きな制約となっている恐れがあることを踏まえ、後継者、経営幹部、中核人材、若手人材等の採用や育成・リスクリングに正面から向き合うための方向性が示されています。

人材面に取り組むためには、まず中小企業・小規模企業の人材戦略が必要です。この人材戦略は経営戦略や経営課題に基づくもの、一体となったものでなければ根本的な課題解決にはつながりません。各事業者の経営上の悩みの中で、人材面の悩みが潜んでいないかを明確にし、取組を進めていくことで経営と人材が一体化した支援が可能となります。

このように、経営を見渡しなが、経営戦略の実行や経営課題の解決の背景となっている人材課題を設定し、課題解決を進めていくこととなります。

中小企業・小規模企業の人材戦略の立案から実行にあたっては、経営力再構築伴走型支援の手法が有効です。中小企業・小規模企業を中心に、中小企業支援機関と我々中小企業診断士の有機的な連携により、自主的な実行（自走化）を支援します。

平成24年に本会が一般社団法人として法人化した時の正会員数が129人であったのに対し、令和5年6月末現在では168名に拡大しています。賛助会員を含めると約200名の中小企業診断士にご加入いただいております。会員数の増加は地域経済における中小企業診断士全体の支援力が高まっていることにつながります。

本会は、中小企業診断士としてレベルアップできる会員組織です。主に学びの場、内外の交流・ネットワークづくりの場の充実を図っています。新人会員向けの「診断士キャリアアップ研究会」、企業内診断士会員向けの「企業内診断士事業委員会」、幅広い学びを得られる「診断士フォーラム・新春フォーラム」「研修事業」、中小企業診断士の知名度向上を図る「診断士の日事業」等があります。これらの活動を通じて、さらなる中小企業・小規模企業への支援力向上に貢献したいと考えています。会員の皆様の本会活動へのますますのご参加をお待ちしております。



令和5年度通常総会開催

今年度定時総会を6月17日(土)、サン・ピーチ OKAYAMA (岡山市北区) にて開催しました。

出席者は会員総数 167 名のうち 59 名。書面表決及び委任状は 66 名で会員総数の 3 分の 1 以上となり総会が成立しました。審議の結果以下 5 件の議案すべてが承認されました。

【議決された議案】

- 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告
 - 第 2 号議案 令和 4 年度収支決算
 - 第 3 号議案 令和 5 年度新役員選任
 - 第 4 号議案 令和 5 年度事業計画
 - 第 5 号議案 令和 5 年度収支予算
- 新役員は次のとおりです。

代表理事・会長	松本 直也
専務理事	太田 記生
理事・副会長	大原 章道
理事・副会長	栗原 茂
理事・副会長	佐藤 康之
理事	大林 由人
理事	乙倉 淳
理事	草野 栄路

執行役員委員長	入矢 和政
執行役員委員長	難波 治彦
執行役員委員長	山本 浩章

執行役員	赤田 啓介
執行役員	内田 哲司
執行役員	枝 純一郎
執行役員	大月 義明
執行役員	北畠 雄一
執行役員	近藤 厚志
執行役員	田中 久展
執行役員	津田 健治
執行役員	長野 和矢
執行役員	福田 尚二
執行役員	宮前 善充

監査役	植野 悦次
監査役	大西 修
顧問	安藤 覺



令和 4 年度表彰者

また、総会では昨年度の表彰も行いました。

一般社団法人中小企業診断協会 会長表彰者

◆永年会員 (20 年以上本会の会員)

山本多美子

◆役員・委員に在職通算 6 年以上かつ発展に貢献した会員

佐藤康之、津田健治、小倉直樹 (敬称略)



(左から 松本会長、小倉、山本、津田、佐藤)

新春フォーラム

文化・芸術を守ることと美術館を利用すること

日時 令和5年1月15日 15:00～17:00
 場所 サンピーチ・OKYAMA
 講師 公益財団法人大原美術館
 理事長 大原あかね 様



新春フォーラムは、公益財団法人大原美術館理事長の大原あかね様をお招きして、『文化・芸術を守ることと美術館を利用すること』というテーマで90分間ご講演いただきました。

日本初、民間の西洋美術館として、大原美術館の成り立ちからお話をいただき、歴史と創設者の思いを知ることができました。創設者である大原孫三郎氏と美術品をコレクションしていった児島虎次郎氏との信頼関係にも非常に感銘を受けました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて事業再構築を実施しておられ、多くの民間企業からの協賛を集めたり、コンサートや研修スペースとして美術館を開放、法人研修を実施するなど、他の美術館では考えられない、柔軟な発想で新しい挑戦をしているとのことでした。大原美術館は、継続して存在することに意義があるとのこと。

この考え方は多くの中小企業にも当てはまることではないかと感じました。経営面に特化していない内容の講演であったため、受講した多くの会員にはそれぞれ刺さるところが違い、良い内容だったとの感想もいただきました。

若手診断士によるミニセミナー形式で開催

日時 令和5年3月12日 10:00～12:00
 場所 ゆうあいセンター



当会で研究会に参加している若手診断士3人（内田哲司さん、青木高志さん、石井正樹さん）が順番に講演するミニセミナー形式で開催しました。

1番目は内田哲司さんが、「問題解決のベストプラクティス」と題し、問題解決の流れと考え方のお話しいただきました。余談で ChatGPT の話題に触れ、2番目は青木高志さんが、「【経営をデザインする】～経営デザインシートと知財の活用～」と題し、経営デザインシートの活用方法についてお話しいただきました。3番目は石井正樹さんが、「サステナビリティ経営のための知識と実践」と題し、具体的にどのように企業で活用をしていくのかといった実践事例を教えていただきました。テーマが幅広く、また深い内容で、診断士活動にとって非常に勉強になる内容満載の120分でした。会員から活発な質問も飛び出し、関心の高さが現れていました。

今後もこうした機会を通して活発な情報交換をしたいと考えています



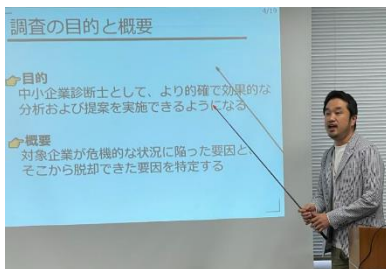
令和4年度調査・研究事業発表

ものづくり企業の現場を起点とした 経営資源の効率的活用

日時 令和5年5月14日 10:00～12:00
場所 ゆうあいセンター

「ものづくり企業研究会」が、「ものづくり企業の現場を起点とした経営資源の効率的活用」というテーマで講義していただきました。

前半は、令和4年度調査・研究事業をもとに、ものづくり企業の経営状況が危機的状況か否かを判断する際に役立つ指標「新アルトマンZスコア」や、「ものづくり企業の肝は現場にある」と実証すべき調査研究結果を北川健介先生と大友隆史先生で講義していただきました。後半は、「有限会社田中製作所 代表取締役 門田悦子様」にご登壇いただき、「存続の危機」に遭遇し、そこからどのように脱却・成長したかを説明していただき、赤田啓介さんに解説していただきました。



製造業も機械化・原価だけではなく人材をどのように活用するかどのようにすると人材が自走してくれるかなど経営理念の構築も会社の仕組みとして必要であると改めて勉強する機会となりました。

また、会員から活発な質問も飛び出し、関心の高さが現れていました。

資本性ローンの活用について & 経営改善計画におけるV字回復事例の紹介

日時 令和5年7月9日 10:00～12:00
場所 ゆうあいセンター

日本政策金融公庫 国民生活事業 融資第二課長 稲田 真也様をお迎えし、「資本性ローンの活用について」と、株式会社ビクトレージ 代表取締役 江口 義浩様をお迎えし、「経営改善計画におけるV字回復事例の紹介」の



2部構成テーマで講演頂きました。フォーラム参加者はリアル開催のみにも関わらず28名の参加者が集うフォーラムとなりました。

第1部の「資本性ローンの活用について」のテーマでは、新型コロナ融資の返済開始時期でもある現在の資金繰り対策のひとつとしてホットな話題であることなら、講師の事例を加えての細やかなご説明を賜り、また、参加者からの多数の質疑・応答も加わり、有効な知識注入の時間となりました。

第2部の「経営改善計画におけるV字回復事例の紹介」では、講師としてお招きした江口義浩様は、水産会社就職・百貨店食品部でバイヤー・商品開発の経験を積まれた後、自ら菓子販売店(現在は菓子製造販売業)を開業され、その後、二十数年間の中で「事業存続の危機」から債務超過脱却・好循環の資金繰りの状態へのV字回復・成長の過程を、自らの半生を回顧するがごとく、その時期・その年の出来事・学びを具体的に交えてご講演頂

きました。参加者からも共感の質疑・応答も加わり、有益な時間となりました。



研究会活動

循環ビジネス研究会

2020年3月に(一社)中小企業診断協会の調査研究事業のレポートを書いた後、新型コロナウイルス感染症流行があり、ロシアのウクライナ侵攻が続き、循環ビジネスに於いて大きな変化はなく、活動は休止に近い状況になっています。

2022年にエジプトでCOP27が開催され、世界の気温上昇を産業革命前と比較し1.5°Cに抑える目標の達成に向けた対応強化が求められました。気温上昇が1.5°Cを超えると甚大な被害を及ぼす異常気象が多発するとの予測からです。そのため地球温暖化効果のある化石燃料由来の二酸化炭素排出を減らす対象として乗用車の電動化(EV)に白羽の矢が向けられました。乗用車のEVが向いている面より、現在のところ他に方法がないのが理由となっています。しかし、EVには多量の銅やレアアース等の資源が必要とされ、それら資源の調達の見途は立っていません。EV化を強力に推し進めることは“無理筋”であることは十分承知の上で行っています。そのため、EVシフトに熱心なEUは合成燃料を使用するエンジン車も認めることを発表しました。

トヨタ自動車はEVの開発の他にハイブリット車も引き続き開発を行い、全方位対応を行っています。EVシフトの流れの中で、(株)リケンと日本ピストンリング(株)が経営統合を発表しました。この2社は世界的なエンジンのピストンリングを生産する会社です。トヨタ自動車はエンジンに固執しているわけではなく、エンジン生産に使用される高度な技術を残したいと考えているためと推測します。それが長期的な利益につながると考えています。

また調査研究事業に協力してくれた浅口市のシバセ工業(株)は、ストローを生産し続ける意欲を月刊誌プレジデントに投稿しています。飲料ストローの他に「工業用ストロー」や「医療用ストロー」を開発しています。紙ストローにはない精度等により新分野を開発しました。製品の多様性を残すことにより、様々な技術を後世に伝えていくことが重要と考えます。

プラスチックのマテリアルリサイクル率は停滞しています。依然として海外からリサイクルと認められていないサーマルリサイクルが主となっています。カーボンリサイクルの主要技術は依然として大企業を中心とした研究開発と、政策合意形成の段階に留まっています。当研究会は中小企業等に提案しづらい状況にあります。

サステナビリティ経営研究会

当研究会は、サステナビリティ(持続可能な)経営=「両利きの経営」と捉え、その理解を深めるとともに、具体的な導入プロセスを研究しています。中小企業が無理なくサステナビリティ経営を実現できるように、診断士として助言・提案力を身につけることを目指しています。

2021年4月の立ち上げ後は3名で活動しており、平日夜・土日中心に1か月に1度程度の勉強会(原則オンライン)を行っております。

実践力向上のために事業者へ実務支援も行っており、昨年度は県内老舗事業者の中期経営計画策定をご支援いたしました。

今年度は、水産事業者の新規事業創出、印刷業者の事業承継などの支援を予定しております。オブザーブ参加などお試し頂けますので、ご興味有りの方は代表の石井正樹までご連絡をお願いいたします。

プロコンのためのスキル開発研究会

当研究会は、実務的かつ実践的であることをモットーとしています。

私たちは企業経営者の「収益を向上したい」という本来のニーズに応えられる王道の経営コンサルタントを目指しています。

AI到来後の未来には既得権益に迎合するだけの者は淘汰され、力のある者だけが生き残れる新時代がやってくる?

いかにも、ワンピースの登場人物がいつているような言葉ですね。

AI到来後のコンサル業界で生き残れる実力を身に着けたい方、大歓迎です。共に楽しく学びましょう!



地域活性化研究会

当研究会は、平成 17 年に発足してから地域活性化を主題として地域経済や中小企業の振興等、中小企業診断士として支援、もしくは提言できるテーマを選定し、楽しく真面目に調査研究活動を行っています。現在 8 名（荒木、安藤、大西、太田、加藤、津田、松本旭、松本直也）で活動を行っております。

定期的な会合や飲み会等本研究会にご興味・ご関心ある方は、遠慮なく是非お声掛けください。新会員も募集中です。

『地域活性化研究会の調査研究事業』実績・2007 年：中心市街地活性化の研究と地域における実践活動報告・2011 年：中小企業の採用活動と大学生の就職意識に関する調査研究・2013 年：「経営者が考える“いい会社”に関する」調査研究・2015 年：道の駅の現状と課題に関する調査研究・2019 年：岡山県の観光振興における「客船クルーズ」の活用に関する調査研究。

コロナ感染症の影響で 2020 年から 2022 年までは思うような活動はできませんでしたが、2023 年は「岡山県の体験型・着地型観光の調査研究」というテーマで活動いたします。



問題解決力向上研究会

過去の診断案件等を題材にして、問題把握・原因究明・提案施策について、“広く、深く”考えることに特化した、コンサルタント必須の問題解決力を鍛える会です。当研究会は 2 カ月に 1 回のペースで活動しており、問題把握、原因究明、施策立案のトレーニングを行っています。

特に今年度からは、従来の問題解決力のトレーニングに AI 技術の積極的な活用に取り組んでいます。最近の AI 技術の進展に伴い、コンサルティングの手法にも、大きな変革のときが来ています。当研究会でも、業界、消費者、競合に関するデータ収集・分析の時間短縮や、様々なアイデア創出などに、CHATGPT などの AI 技術を活用しています。診断士として AI 技術をどのように活かしていけるのか、様々なクライアントに応じた実践的な活用方法を模索していきたいと考えています。

また、当研究会は常時、参加者を募集しています。共に、思考力を高め、より質の高い問題解決の向上を目指しましょう。特に、新たにキャリアを歩み始めた方や、実践経験が少ない方に、ぜひご参加いただければと思います。

●令和 5 年度の研究会紹介動画を下記よりご視聴ください。

[HTTPS://WWW.YOUTUBE.COM/WATCH?V=GO5AYCULXRC](https://www.youtube.com/watch?v=GO5AYCULXRC)



診断士キャリアアップ研究会

診断士会入会后 3 年以内の会員を対象にした交流会中心の研究会です。

診断士資格を活用したキャリアアップの研究・自己PR力の向上等をテーマに活動しています。現在は診断士として活躍していくために必要な 3 つの力である、「聞く」、「診る」、「話す」のうち特に「話す」の力の向上を目指し、毎回 2 名の方に、ミニセミナーを実施していただいています。テーマは自由です。

毎回、講師の方に自身の得意分野や専門性をテーマにして 30 分程度セミナー形式で講義していただいた後、活発な意見交換で相互に理解を深めていっています。入会年次の近い診断士同士で横のつながりをつくりながら、自己PR をしてく場として最適な研究会となっています。今年も 2 カ月に 1 度の研究会活動をしていきます。入会 3 年以内の方は気軽に参加してください。

ものづくり企業研究会

当研究会は製造業をはじめとした“ものづくり企業”をより強力に支援していくことを目的に研究活動を行っており、昨年度はこれまでの活動を「調査研究報告書」として纏めることができました。5月には診断士会のフォーラムで発表させて頂き、大変な反響を頂きました。今年度の活動は昨年までの調査研究事業を振り返り、ものづくり企業研究会の中長期計画を改めて構築しています。苦勞して「調査研究報告書」として纏めることができたのは非常に大きな成果ですが、十分に納得のいくレベルにまで至らなかった所もあります。すでに次回編纂時の改善提案もあり、この機会にもものづくりLOVEの方は入会をお待ちしています。

また、毎月会合の後半で実施している勉強会は、2年目に入り当会OBの岡田先生に自著のテキストを解説して頂く貴重な機会となっておりますが、今年度はメンバーが中心となってそれぞれの専門分野の知識や経験談を情報共有する時間に変えていきたいと思っています。



(診断士フォーラムでの発表の様子)



AI 研究会

当研究会は、2018年8月に発足しました。現在、研究会メンバーは8名（太田、岡本、入矢、田中、内田、中津、長野、大友）です。参加者全員がプログラミング経験者、システム開発経験者です。AIやITの技術的な部分を含めた研究を行うことによる中小企業診断士としてのスキル向上を目的として、月に1回程度集合して研究会を開催し、AIやITについての情報交流やテーマ研究を行っています。

今年度は、「中小製造業の生産管理等の改善に資するAIの開発」をテーマに掲げ、製造業の現場データを分析するためのAIプログラム開発に、全員で取り組んでいます。PYTHON言語を活用したAIプログラムで在庫管理の適正化を実現すべく、実際の生産管理システムデータを活用して構築した「安全在庫算出プログラム」を、さらにレベルアップさせる研究に取り組んでいます。

現在は、ブラウザ上でPYTHON言語を記述・実行可能な開発プラットフォームである、GOOGLE COLABORATORY（グーグルコロレトリー、グーグルコラボ）を利用して、開発・研究を進めています。これからもじっくり時間をかけて、AIプログラミングの実践研究を進めつつ、CHATGPTの中小企業への活用を含めた「中小企業におけるAI活用の最前線の研究」にも取り組んでいく予定です。

システム開発者、またはデータサイエンティストを目指す診断士の方の参加をお待ちしています。



新会員ご紹介

これまでの人脈、経験を活かす



小川幸宏

総社市出身、総社市在住。上智大学大学院を修了後、株式会社レイヤーズ・コンサルティングに新卒で入社。上場企業を中心としたクライアントに対して、

経営管理、新規事業開発、SCM、HRM など幅広い領域のコンサルティングサービスの提供に従事しました。外資系製薬会社、自動車完成品メーカー、セラミック製品メーカー、総合商社系列企業、電気通信会社系列企業、精密機器メーカーなどを担当。家庭の事情により退職後、地元総社市に戻って家業の不動産業、別法人で運営している社会福祉法人の経営に携わっています。

また、総社商工会議所青年部（総社 YEG）の会長も経験しており、YEG 活動を通じて全国各地に経営者仲間との人脈を構築しました。大企業へのコンサルティング経験、中小企業でのマネジメント経験、全国各地の仲間のネットワークを活用して、クライアントの課題解決に邁進します。

新たな路線を目指して



山中聡志

出身は高知県ですが、半生以上を岡山市で過ごしてきました。大企業での厳しい営業経験や小規模店舗の運営管理を経験し、現在は岡山市内の中小企業にてインフラ製品及び建設業の営業部門を担当しております。

さらに、施工管理の経験と資格を活かし、全力で取り組んだ公共工事では国交省からの表彰を受

けることができました。診断士としてはこれからのスタートラインに立っています。皆様との交流を積極的に行いますので、ご指導をお願いします。

これまで培った多様な経験を活かし、地域企業や建設業界への貢献に努めます。

日本企業を元気にしたい！！



田中宏高

1990 年代後半から新卒で入社した商社のアパレル事業で中国を訪問していました。

当時、中国のどこの空港に降り立っても、最初に目にするのが日本の家電メーカーや自動車メーカーの巨大看板でした。残念ながら、今ではそのような光景を目にすることはありません。あの頃のように戻れないかもしれませんが、「もっと日本企業を元気にしたい」と思い中小企業診断士に昨年登録しました。

商社を退社後、中国江蘇省の貿易会社の依頼で縫製工場の開設と運営体制構築に従事しました。その後、上海の地元百貨店の依頼で百貨店の開業と運営管理に従事し、その後現地で独立しました。日本企業の中国事業の支援などを行いましたが、2020年1月の武漢ロックダウン直後に日本出張から中国に戻れなくなり、一念発起し、診断士、IT コーディネーター、一級販売士など資格を取得しました。中国には約 20 年間住んでいました。

現在も、日本の百貨店の売り場で時々接客をしています。時代の変わり目にはチャンスがあると信じて頑張ります。



投稿

診断士は残念な資格なのか

会員 窪田 司

日経ビジネスに『「足の裏の米粒」と揶揄される国家資格とは』という記事が掲載され、ビジネスインフルエンサーの田端信太郎氏がTwitterで『僕は中小企業診断士って資格はクソだと思



ってます。…』と投稿されるなど中小企業診断士には厳しい評価が一部存在しています。

これらは、中小企業診断士資格の構造に原因があると考えています。構造とは、「独占業務がない」と「中小企業を対象としている」ということです。

「独占業務がない」ということは、独立志向の人々の受験動機が弱くなりやすく、資格保有者の層に影響を与えると予想できます。実際、中小企業診断協会のデータによると中小企業診断士の46.4%が企業内診断士となっています。「独立している人が少ない＝中小企業診断士は独立できない」という印象が残念な資格と見られているのではないかと思います。

また、「中小企業を対象としている」ということは、メディアなどで報道される確率が少なかったり、著名人との出会いの機会が少なかったりすることが予想されます。さらに、あるYouTuberは大企業に行く際には中小企業診断士の肩書が入っていない名刺を持参すると述べており、この資格は著名なビジネス界であまり使用されないと予想されます。「中小企業診断士を知らない＝中小企業診断士の活躍している人は少ない」という印象が残念な資格と見られている可能性もあります。

中小企業診断士の現場での言動こそが、中小企業診断士資格の評価を左右すると意識しています。

書評

中小企業の人材採用に活路を見出す！

小さな会社こそが絶対にほしい！

「化ける人材」採用の成功戦略

著者:会員 窪田 司

私は、中小企業メーカーに勤めており、企業内診断士として、メーカーの人事に携わっています。本書は、中小企業に特化した人材採用の重要性と課題を明確に捉え、具体的な解決策を提案している優れた書籍です。人事担当者や経営者にとって、中小企業ならではの課題に対処する手法を学ぶ貴重な一冊となることでしょう。



著者は明確な研究と実践的な経験に基づいており、その専門知識は信頼性があります。本書では、中小企業が直面する一般的な課題、例えば限られた予算や知名度の低さなどの人材採用の競争力の低さなどに焦点を当てています。さらに、これらの課題を克服するための具体的な戦略やベストプラクティスも提案されており、実践的なアドバイスが満載です。

本書の特筆すべき点は、中小企業の特有の状況を理解し、それに適したアプローチを示していることです。例えば、予算の制約がある中小企業において、自社にとっての求める人物像を明確化して、自社の訴求ポイントを的確に伝える方法を提案されています。

さらに、本書は中小企業が成功するために入社後の視点も提供しています。中小企業は人材採用だけでなく、入社後の適切な社員教育や翌年の採用戦略の策定などに取り組む必要があります。本書では、このような戦略的な視点を重視し、中小企業が持続的な成長を遂げるための手段を具体的に指南しています。

本書は、中小企業の人材採用に関わる課題を理解し、具体的な解決策を模索する人事担当者や経営者、我々中小企業診断士にとって貴重な一冊です。中小企業の成長と成功に向けて、人材採用戦略を強化したい方には、強くお勧めします。

(書評 会員 長野和矢)

写真:一般社団法人版元ドットコム HP より

事務局からのお知らせ

ミニセミナー

日時 令和5年7月22日(土) 10:00~11:30
場所 zoomでの開催となります。
講師 会員 内田哲司、大友隆史
概要 「コンサルタントのChatGPT活用術」
可能性は無限大!最新AI技術をどう活用するか
ChatGPTを診断士業務に活用するノウハウを知
っていただき、中小企業支援の成果に繋がります。

理論政策更新研修会

日時 令和5年8月20日(日) 12:50~17:00
場所 岡山コンベンションセンター
レセプションホール(オンライン受講可)
研修テーマ・講師
1. 「新しい中小企業施策について」
中国経済産業局産業部中小企業課
課長補佐 西村祐希 様
2. 「イノベーション・マネジメントに基づくコー
チング型伴走による経営革新」(講義・演習)
中小企業診断士 浜崎義樹 様

しんきん合同ビジネス交流会

日時 令和5年9月13日(水) 13:00~17:00
場所 コンベックス岡山 大、中、小展示場
(岡山市北区大内田675)
県内7信用金庫、(公財)岡山県産業振興財団、(株)
日本政策公庫など合同で「第17回岡山県しんきん
合同ビジネス交流会」が開催されます。当会は会
場に相談ブースを設置します。

士業親睦ゴルフ大会

日時 令和5年9月23日(土) 9:38 スタート
場所 鬼ノ城ゴルフ倶楽部
主催 岡山自由業団体連絡協議会

参加希望の方は事務局まで連絡をお願いします。

士業連携フォーラム

日時 令和5年9月26日(火) 時間未定
場所 未定
主催 岡山自由業団体連絡協議会
士業間の垣根を越えて積極的な情報交換等を行い、
親睦の輪を広げることが目的の会です。後日、参
加募集を行います。

診断士の日

日時 令和5年11月21日(火) 15:00~17:00
場所 ピュアリティまきび
本年度テーマ「診断士の活用法 商品開発」
中小企業診断士が行う商品開発について支援機関
に事例を紹介することで、診断士活動の認知向上
を図ります。

親睦ゴルフ大会

日時 令和5年12月2日(土) 9時4分スタート
場所 吉備カントリークラブ
会員間の親睦を深めることを目的として、ゴルフ
コンペを開催いたします。
参加希望の方は事務局まで連絡をお願いします。

会員異動

【正会員】

☆令和5年4月以降入会

小川幸宏、田中宏高、中津敏晴、山中聡史

【退会会員】

正会員:浅沼利郎

賛助会員:井原英二、菱川邦弘、本阪恵一、
本位田和昭

【訃報】

川上恵三 (令和5年4月6日 ご逝去)

岡山県中小企業診断士会会報 第23号

令和5年7月15日 発行

一般社団法人岡山県中小企業診断士会

〒700-0907 岡山市北区厚生町3-1-15

岡山商工会議所ビル5F

Tel 086-225-4552

Fax 086-225-4554

発行人 会長 松本直也

編集人 専務理事 太田記生

広報委員 委員長 山本浩章

